

MUFG 発足 20 周年を機に制服をリニューアル

株式会社三菱UFJ銀行(取締役頭取執行役員 大澤 正和、以下 三菱UFJ銀行)は、「世界が進むチカラになる。」というパーパスのもと、MUFG 発足 20 周年を機に制服をリニューアルします。装いを通じて「MUFGらしさ」を体現し、お客さまに安心感と信頼感をお届けするとともに、より質の高い顧客体験の実現をめざします。

あわせて、旧制服はリサイクルによる再資源化を進め、環境負荷や資源調達リスクの低減、ならびに産業育成を通じて、循環型経済の実現に貢献します。

【新制服のコンセプトおよびデザインについて】

通常店舗では「MUFG グレー×MUFG レッド」、エムツスクエアでは空間コンセプトに調和する「ライトベージュ×MUFG レッド」のオリジナルデザインを採用し、金融のプロフェッショナルとしての品格と先進性を体現しています。装いを通じてブランドの一貫性を高め、お客さまに当行の進化し続ける姿勢を感じていただくことで、より質の高い Customer Experience (CX) を実現いたします。

また、今回の制服リニューアルは従業員の声を起点とした取り組みであり、エンゲージメント向上施策の一環でもあります。機能性や多様性に配慮したデザインを採用し従業員一人ひとりが自分らしく活き活きと働ける環境を整えることでサービスの質を高め、お客さまに選ばれ続ける銀行であることをめざします。



【資源循環に向けた取り組み】

新制服導入に伴い、当行は制服を「所有」から「レンタル」形式に変更します。新制服の生地は再生ポリエステル 100%とし、使用後の制服は新制服の製造委託先であるユニフォームメーカー株式会社サーヴォを通じて、埋立・単純焼却やサーマルリサイクルを回避し、ケミカルリサイクル¹およびマテリアルリサイクル²を行うことで、資源循環を推進します。

また、旧制服についても、廃棄物ではなく資源として循環させる取り組みを実施します。単一素材および複合素材からなる旧制服約 14 万点を、社会的意義等の観点から、複数のリサイクル手法を組み合わせた再資源化を図ります。具体的には素材特性や技術の成熟度に応じて、繊維として再生する手法や、別用途での資源活用など、複数の選択肢を視野に入れたリサイクルを行うことを想定しています。これまで従業員とともに歩んできた制服が、「銀行内において、従業員やお客さまに新たな形で再度活用される存在」、「銀行外においても、再生原材料として、社会インフラを支える存在」へと循環していくことをめざします。

本取り組みにより、従業員が制服を通じた身近な資源循環を実感することで、従業員の環境意識醸成につながってまいります。また、廃棄物削減に加え、需要家の立場から最先端の資源循環技術を支援するとともに、パートナー企業との協働を通じて循環型経済の実現に貢献してまいります。



¹ 使用済み製品を化学的に分解し、原料レベル(モノマー等)まで戻したうえで再度製品化するリサイクル手法。素材を分子レベルで再生することにより、新品と同等の品質を確保できる点が特長であり、繊維 to 繊維などの資源循環を可能とします。

² 使用済み製品を粉碎・圧縮・成形などの物理的処理により再資源化し、別の製品や材料として再利用するリサイクル手法。用途に応じて建材や自動車部材、産業資材等へ転用され、資源の有効活用と廃棄物削減に寄与します。

三菱 UFJ 銀行は、制服リニューアルを契機とした本取り組みを通じ、金融機関としての社会的責任を果たすとともに、「世界が進むチカラになる。」というパーパスのもと、脱炭素社会および循環型経済の実現に向けて、今後も主体的に挑戦を続けてまいります。

【三菱 UFJ フィナンシャル・グループの資源循環への取り組み】

三菱 UFJ フィナンシャル・グループでは、中期経営計画 2024-2026 において、社会課題の解決に向けた優先的に取り組む 10 の課題として「カーボンニュートラル社会の実現」、「循環型経済の促進」を掲げており、環境負荷低減、資源循環への国際的な意識の高まり、ごみ問題の深刻化、資源の保全といった観点から、脱炭素社会および再生資源を利用する循環型経済への移行に向けて、さまざまな取り組み³を実施しています。

³ MUFG における環境負荷低減に向けた資源循環への取り組みは、MUFG Transition Progress、ならびに HP Sustainability at Work をご参照ください。
MUFG Transition Progress: <https://www.mufg.jp/csr/report/progress>
Sustainability at Work: <https://www.mufg.jp/csr/atwork/>